

令和 6 年度 日置市教育委員会定例会(11月)

○日 時：令和 6 年11月20日（水） 午後 3 時30分～午後 4 時30分

○場 所：日置市中央公民館 研修 2・3（3 階）

○出席者：奥教育長

委 員：内村委員・中島委員・鶴木委員・福田委員

事務局：東(事務局長兼教育総務課長)・中鉢(学校教育課長)

田代(社会教育課長)・内田(東市来支所長教育振興課長)

坂上(日吉支所教育振興課長)・神之門(吹上支所教育振興課長)

宮前(教育総務課長補佐)

1 開会

奥教育長： 日置市教育委員会11月の定例会を始めます。

2 前回議事録の承認

奥教育長： 前回10月の議事録の承認をお願いいたします。変更や修正等はありませんか。

(特になし)

よろしかったでしょうか。

(異議なし)

それでは、10月の議事録は承認とさせていただきます。

【前回の議事録承認】

署名・押印は、中島委員と鶴木委員をお願いいたします。

3 委員及び教育長の報告

奥教育長： 委員及び教育長の報告です。中島委員からお願いいたします。

中島委員： それでは、前回の定例会以降の出席等について、ご報告させていただきます。

10月27日に、鹿児島県3大行事の1つである妙円寺詣りにあわせて、第74回妙円寺詣り行事大会の総合開会式がフラゴラアリーナ日置にて開催され、出席させていただきました。

来賓として関ヶ原町、多賀町、大垣市、始良市の親善大使に加えて、競技が行われる剣道の選手団、韓国南原(ナモン)市からの使節団を迎えて、大会会長の永山市長よりあいさつがありました。

例年、10月の第4土日に開催される妙円寺詣りにあわせて、郷土芸能の奉納や武道大会、フェスタなど様々な行事も行われ、2日間、日置市内がとても賑わったように思います。

同日、伊作田小学校の秋季大運動会を参観させていただきました。運動会スローガンに「燃えろ赤組 光れ白組 その手で優勝をつかみとれ」を掲げ、半日開催でしたが全15種目が行われ、晴天の中、先生、児童、保護者、地域の方々が一緒になって声援を送ったり、各種目で協力する姿を見ることができました。小規模校で児童数も減少する中ですが、地域との連携を図った場面を見ることができました。

10月31日は、市教委学校訪問で、飯牟礼小学校を訪問させていただきました。児童は76名で、5・6年生が複式学級、特別支援学級が2学級の7名在籍しています。

友生校長先生より学校経営説明があり、飯牟礼小学校創立141年目、桜島、諸正岳、矢筈岳を望み、周辺を茶畑に囲まれ自然環境に恵まれ、市内で特認校制度を最初に設けて、現在10名が在籍しているということでした。今後も10数名の入学が見込まれると話されました。

「豊かな心と学ぶ意欲を持ち、心身ともにたくましい児童を育てる」を教育目標に挙げ、飯牟礼に誇りと愛情を持ち、夢や希望を抱き、多様な人々と協働することを目指す未来の飯牟礼っ子、お茶摘み、手作り体験、お茶の作法教室など、お茶とのふれあい活動や登山などの自然体験といった特色ある教育活動に取り組んでいることを知りました。

校内はどこも整理整頓され、元気な挨拶ができる児童の姿や、授業に真剣に取り組んでいる様子、登下校時の安全確保など、学校・家庭・地域の連携が図られ、一体となって児童が安心して学べる環境ができていることも確認できました。

11月7日は、令和6年度第1回日置市地域密着型サービス運営協議会に出席し、2つの議題が協議されました。

初めに、日置市の介護保険の現状について、事務局より報告がありました。本市の総人口は令和6年10月1日時点で46,237人、内65歳以上の高齢者人口は16,939人で、総人口に占める割合は36.6%となっています。今後、高齢者人口は大きく変化することはないものの、生産年齢人口が減少することで、自然と高齢化率は上昇すると予想されます。

また、本市の要介護認定率は令和6年3月で2,813人、16.8%です。全国平均が19.4%、県の平均が19.1%と、平均値よりは下回っているものの、15年後の令和22年には21.2%と増加に転じると予想されていました。

続いて、第9期介護保険事業計画に基づく地域密着型サービス提供施設の整備について報告がありました。現在、市内には、グループホームが13施設、小規模多機能ホームが4施設、地域密着型特別養護老人ホームが1施設、また、県指定の介護老人施設の内、2施設が増床予定とのことでした。高齢者サービスのソフト面の充実はもちろんですが、今後、施設運営に当たる従業員等の減少といったハード面の整備も今後の課題として視野に入れてほしいとの意見も出ていました。

11月8日は、令和6年度東市来地域小中学校音楽発表会に出席いたしました。講師に鹿児島市立星ヶ峯東小学校長であり、鹿児島県吹奏楽連盟の副理事を務めておられる福留健之（ふくどめたけし）校長先生を招き、小学校5校、中学校1校の発表がありました。

発表会に向け、一生懸命に練習してきた成果が出ていました。演奏形態も、斉唱、合唱、手拍子と、以前よりも色々な手法で発表の形態が変わっていることに驚きました。中でも東市来中学校の吹奏楽部が14名と人数が少なくなったものの、吹奏楽の奏でる音色に会場の児童は耳を傾け、手拍子をし、会場が大きく盛り上がりました。以上です。

奥教育長： ありがとうございました。鶴木委員、お願いいたします。

鶴木委員： それでは、10月の定例会以降の活動について、ご報告させていただきます。9つありますので、かいつまんで報告いたします。

10月23日は、日置市小中一貫教育として土橋中学校区で開催された「ひおきふるさと教育」の「ひおき学実践発表会」のため

に、会場校である土橋小学校を訪問しました。この実践発表会は、「へき地・複式教育」の研究も兼ねた実践発表会になっていました。

令和5年度から2カ年にわたる研究では、研究テーマを「ふるさとに学び ふるさとで育み ふるさとに貢献できる児童生徒の育成」とし、サブテーマを「自己有用感を育む地域とつながる教育活動の充実を通して」として、取り組み状況と成果及び課題が報告されました。

小・中学校の9年間をまず、小学校1年生から4年生までの4学年を「基盤期」と位置付けて「ふるさとの自然・伝統・文化に親しんだり、理解したりする中で、楽しく遊び、活動できる児童」の育成に努め、5年生から中学校1年生までの3学年を「充実期」と位置付けて「ふるさとの自然・伝統・文化を体験的に理解し、主体的に関わろうとする児童生徒」として育成し、中学校2・3年生の2学年を「躍動期」と捉え「郷土と自分との関わり方や自らの生き方を見つめ、ふるさとの発展に貢献しようとする生徒」を育成する期間と位置付けていました。

具体的な活動例として、イチゴ収穫体験を通して、ふるさとの「もの」とつながり、小・中・校区合同運動会や夏祭りを通して、ふるさとの「こと」とつながり、地域ふれあい活動などでふるさとの「ひと」と繋がる取組を、生活科や道徳科、総合的な学習の時間などを活用して企画の段階から参画し、地域における実践活動を主体的にリードしていく取組のように感じました。

公開授業では、中学生のひおき学を参観しました。3人の教師がチームを組み、地域の方をゲストアドバイザーとして迎え「ゲストアドバイザーと共に、みんなが笑顔になれるふれあい活動を企画しよう」をテーマに、高齢者とのふれあい活動で行うレクリエーション種目についてグループ別に話し合い活動が行われました。

各グループから様々な案が出される中で「高齢者の立場ではルールが理解しづらい」とか「膝や腰の痛い人は参加できない」など、日頃から地域と関わりをもっていなければ思いつかないような意見が出されるなど、活発な授業風景が展開されました。参観して、中学生の思考の柔軟性や発想の豊かさに改めて気付かさ

れ、収穫の多い実践発表会になったと思います。

その後、授業研究やこれからの「ひおきふるさと教育」について、コンセプトを共有するための情報交換が行われました。大園課長補佐の指導講話、柚木校長のあいさつがあり、実践発表会を終了しました。

27日、31日の妙円寺詣り行事大会及び飯牟礼小学校の学校訪問については、中島委員から報告がありましたので、割愛いたします。

11月3日は、前日に予定されていた運動会が雨で順延となった妙円寺小学校の運動会に行きました。プログラムに掲載されていた9時開始と思い8時50分に着いたのですが、教職員・児童総出で準備に取り掛かっていて、9時45分からの開始になりました。大会スローガンは「最後まで 駆ける妙小 赤白共に」でした。

開会式で校長が「青空が広がり運動会日和となった。コロナが感染法上の第5類に位置付けられたので、今年はコロナ以前の運動会と同様に午後までの開催とした。これまでの練習の成果を発揮して、最後まで頑張ってもらいたい」とあいさつされました。この日は私的な事で鹿児島へ行かなければならなかったため、開会式終了後に会場を後にしました。

4日は、伊集院小学校と伊集院北小学校の運動会が行われたので、両方に行ってきました。

初めに行った伊集院小学校は、2日に予定されていたのですが、雨天のため2日後の4日に延期された運動会です。「きばれ仲間とともに輝く 世界に一つの大運動会」を大会スローガンに開催されました。

開会式で校長が「雲1つない青空の下で第78回大運動会を開催する。これまでに培ってきた力を大爆発させて頑張ろう」とあいさつをされ、応援団によるエール交換から始まって、3年生の短距離走、5年生の短距離走、1年生のかけっこ、2年生のデカパンリレー、6年生の短距離走、4年生の伊集院タイフーン、応援合戦までを見学しました。この時点の中間発表で、白組が35点リードしていました。

その後、伊集院北小学校へ移動して、6年生の短距離走、1年生から3年生による表現運動、5年生の親子種目、応援合戦、1

年生の学年種目、2年生の学年種目、4年生の親子種目、3年生の短距離走まで応援して午前中の部が終わりました。暑い中ではありましたが、どちらの学校でも一人一人が一生懸命に頑張る姿に大きな拍手を送りました。

8日は、伊集院地域学校音楽発表会に参加して、開会のあいさつを行いました。小学校5校、中学校3校から学校を代表する児童生徒が参加して、合唱や合奏を披露してくれました。

土橋小学校は全校児童33人の参加、土橋中学校も全校生徒23人によるオペレッタ「ヘンデルとグレーテル」を披露してくれました。

講師にお迎えした緑丘中学校の内真奈美校長が、講評の前に星野富弘さんの「きょうも一つ」という歌を披露され、その美しい歌声に魅了されました。観客席からは「ブラボー」と声が上がりました。

講評では「自分らしさを一人一人の個性として束ねて、思い切りよく表現できていた。失敗を恐れずに表現できたことは素晴らしいことで、音楽の上手、下手を超えて人の心をつかむことができる。今日は、オペレッタあり、卒業を控えた中学校3年生の合唱があり、100人を超える大合唱もあった。音楽は歌うことや楽器を奏でることも大事だが、考えることが大事で、楽譜に書かれていることも書かれていないことも、作者は何を願ってこの曲を書いたのかを思いながら、そして自分はこう表現したいと思って取り組んでほしい。これからも想像力を働かせて、生身の人間として音楽に関わってほしい」と話されました。

12日は、日置市小学校陸上記録会に行きました。今年は、5年生と6年生が全員参加して開催され、トラック種目で5・6年生の男女の選手種目である100m走や800m走、400mリレーと6年生男女の60mハードル走が、フィールド種目では5・6年生選手による走り幅跳びと走り高跳びが行われました。

その他にBの種目として、選手以外の全員が参加する100m走が行われ、子ども達は日頃の練習の成果を発揮しようと素晴らしい走りや跳躍を見せてくれました。選手種目ではないBの100m走でも、スピードのあるきれいなフォームで走る児童が目につきました。

16日は、第20回伊集院地域子ども会大会～キッズフェスティバル～が開催されました。大会の進行役は、ジュニア・リーダークラブ「チェスト」の2人が務めました。

開会行事に続いて、霧島自然ふれあいセンターで開催された「チャレンジ霧島」に参加した小・中学生16人の中から、代表として4人の小学生が池めぐりトレッキングや星空観察、キャンドル・サービス、他の学校との共同生活、高千穂牧場での体験、霧島神宮参拝などについて、体験活動を報告してくれました。

2泊3日の生活を通して、家族のありがたさ、助け合うことの大切さ、自分から積極的にチャレンジすることの大切さ、思ったことを言葉で伝えることの大切さ、研修で学んだことを日常生活で生かしていくことの大切さなどについて語り、これから皆をまとめていくことのできるリーダーになると誓ってくれました。

子ども会活動発表では、妙円寺団地へ上がる途中にあるパームヒルズの「瀬戸内子ども会」と「飯牟礼やはず子ども会」が日頃の取組状況を舞台で発表してくれました。また、会場入り口には、4つの子ども会が1年間の活動内容をまとめたパネルを展示していました。全体会では、育成指導者、子ども会会員一緒になって、市のレクリエーション協会の指導の下、レクリエーションで楽しみました。以上でございます。

奥教育長： ありがとうございます。福田委員、お願いいたします。

福田委員： 報告いたします。

10月27日に、妙円寺詣りの開会式に参加させていただきました。剣道競技を行う剣士の熱気が溢れる中、開会式が行われました。

関ヶ原町訪問の際にお世話になりました関ヶ原町の副町長さんがいらしておりましたので、ご挨拶もさせていただきました。

同日、吹上地域文化祭の開会式にも参加させていただきました。

10月31日は、飯牟礼小学校の学校訪問がありましたが、中島委員から報告がありましたので、割愛させていただきます。1つだけ申しますと、とても綺麗な学校で、先生方も一生懸命されていて、地域密着型の良い学校だなと思いました。

11月8日は、日置市日吉・吹上地域小中義務教育学校の音楽発

表会で、あいさつをいたしました。内村委員に「上手だったよ」と褒めていただきました。ありがとうございました。

音楽発表会では、和田小学校の児童が竹太鼓をされました。孟宗竹を所々くり抜いたものを叩きますが、勇壮でとても上手に叩いておりました。フォーメーションも変えながらされていて、だいぶ練習されたのではないかなと思いました。楽しく叩く姿に感動しました。

その後、娘の通っている吹上高校も文化祭でしたので、娘の発表にあわせて行ってきました。ハンドベルの発表をしましたので、見学させていただきました。

それから中央公民館へ戻り、また、見学させていただきました。日吉学園は6年生27名の和太鼓の演奏でした。沖縄の音楽で、少しハードに腕を回したり、足を上げたり、動きのある太鼓の演奏を聴かせていただきました。

講師に県立松陽高等学校の今村裕紀先生をお招きして、講評を頂きました。例えが面白くて「音楽はごはんだ。ごはんがあつておかずがあつて副菜がある。皆さんは何が好きですか。その中で自分が好きなものがメロディーだ。その他にも色々、食事の中にはあるよね。そういったものも噛みしめながら、音楽は奏でていくものなんだよ」とおっしゃっていました。また「歌詞の中には必ず心に留めるような歌詞が入っているはずだから、そういったものも考えながら、歌ったり演奏したりするといいんじゃないか」と講評を頂きました。

音楽を聴き、合唱を聴き、私にとっても素晴らしい良い時間となりました。

11月12日は、第19回日置市小学校陸上記録会を見学しました。白熱した小学生の競技を午前中に見させていただきました。選手の応援をしながら、鶴木委員から陸上のルールを教えていただき、とても勉強になりました。

11月16日に、吹上地域子ども会大会に参加させていただきました。発表担当の地区の子ども会の活動や体験発表などを聞きました。司会は小学生と中学生がされていました。子ども会の活動を聞いて、全部が元に戻ったわけではないんだなと改めて知りました。敬老会の参加がなかなかできていなかったように感じまし

た。そういったものが元に戻るといいなと思うところでした。

その後、大垣市との交流の発表や関ヶ原戦跡踏破隊の発表がありました。写真を使って、自分達がやってきたことを、細かく上手に発表できていました。

その後、吹上浜の砂や軽石を使った制作が行われました。吹上浜の砂を赤や黄色、緑、青などに色付けしてあり、それをダンボールのボードに張り付けて制作をするものでした。せっかくでしたので、私もさせていただきました。ありがとうございました。以上です。

奥教育長： ありがとうございました。内村委員、お願いいたします。

内村委員： 報告させていただきます。

10月23日は、6年度第1回日置市子ども・子育て会議に出席しました。協議内容は、令和6年度末をもって第2期計画が期間満了を迎えることから、新たに令和7年度から11年度までの第3期計画骨子案策定について事務局より説明の後、各委員より質疑応答がなされました。

保育団体からは、保育士の人材確保が喫緊の課題で、給与面の低さ・保護者からの過度の要求・クレーム等で離職者が多いと話され、また保育園と併設している放課後児童クラブでも人材確保に苦労していると現状の厳しさを述べられました。行政から保育園入所時の説明のパンフレットに「保護者からの過度の要求には保育園として応じられない」と重要事項で入れてほしいと要望がありました。

11月1日は、日吉学園の後期課程の文化祭を午後から鑑賞しました。最初に、ピアノ・マリンバ・ユーフォニアムなどの楽器を奏でる3人のプロの演奏家の音色に体育館内が静まり返り、前期課程・後期課程の児童・生徒もくいいるように見て聴いて鑑賞していました。一流の演奏を聴いて、音楽を通して情操感覚が高まっていく様を見ることができました。

次は、7年生による日吉町の歴史や伝統文化を学ぶ「ひおき学」を学んだ成果を発表しました。まず史跡班は、町内の毘沙門天・八幡神社・園林寺跡・鬼丸神社・大乘寺跡・岩屋観音などを探訪して、それぞれの歴史を調べた結果を発表しました。

伝統芸能班は、せつぺとべ・お田植え踊りを、八幡神社・鬼丸

神社で奉納した後、各地域で踊る鎌踊り・笹踊り・虚無僧踊りについて調べた結果を発表しました。調査発表を通して、ひおきふるさと教育が郷土愛を育くむ素晴らしい体験に繋がっていると思いました。

9年生は創作ダンスを発表しました。生徒の皆さんが舞台を所狭しと全身で飛び跳ねて、汗が飛び散るほどのエネルギーに圧倒されました。これから高校受験という不安や夢に向かう時に、この最高の仲間との絆が自信と素晴らしい思い出になることでしょう。

11月3日は、日吉地域文化祭を鑑賞しました。オープニングは日吉学園吹奏楽部の演奏で幕が開きました。7人と少ない人数ながら、毎日の真剣な練習の成果をいかんなく発揮して素晴らしい文化祭のスタートになりました。

地域住民の方々が趣味と生きがいを持ちながら、日々の練習に励んでいる成果を、舞台上で楽しそうに真剣に披露される様子にとっても感動しました。最後の演舞は、日吉学園6年生がエイサーを太鼓の音と掛け声で元気よく演舞して、観衆の皆さんも日吉学園生が地域と共に歩み、育っている様子に安心された様子でした。

11月6日は日吉学園ふるさと学習の一環で、日吉学園校庭で、吉利地域住民高齢者20人と4年生24人がふれあいグラウンドゴルフで交流しました。初めての児童も多く、ルールや打ち方などを高齢者に優しく丁寧に教えてもらい、上手に打てたら褒められる中で、自然にお年寄りを大切にしようとする礼儀作法が醸成されていく素晴らしい出会いになったと思いました。

11月13日は、美山小学校の特別授業「薩摩焼お茶碗給食」と「だしで味わう和食の日」に出席しました。美山小学校は400年以上前に、朝鮮から陶工が渡来して薩摩焼を始めて以来、歴史と伝統文化を大事にしています。学校では美山薩摩焼振興会の協力の下、平成28年から薩摩焼お茶碗給食を実施しています。

本年度、学校創立150周年を迎えるに当たり、お茶碗給食と「だしで味わう和食の日」のタイアップにより実現したもので、和食文化国民会議の副会長さんや、第15代沈壽官さん、韓国料理家さんが、だしのお話や薩摩焼お茶碗の話、韓国料理のお話を児童の前で話されて、児童の皆さんはとても興味深く、食文化の話

に聞き入っていました。

終了後は、学年ごとに教室で給食になりました。通常給食に当日は韓国料理家さんが作った韓国料理のチヂミが添えられていて、おいしそうに食べていました。これから、ますます食文化を大切にして、健康に育ってほしいと願いました。

10月31日の飯牟礼小学校訪問は中島委員が、また11月8日の音楽発表会は福田委員が、11月12日の陸上記録会は鶴木委員、福田委員が詳しく述べられましたので、私からは割愛いたします。以上です。

奥教育長： ありがとうございます。

私からですが、委員の方と重ならない部分だけ申しますと、10月24日に、志布志で県の小中一貫教育並びにコミュニティスクールフォーラムというのがありまして、大園補佐と2人で出席いたしました。

この会の中で、本市からは飯牟礼小学校の校長先生がコミュニティスクールの取組について発表してくださいました。先程、学校訪問の報告もありましたが、地域と密着した事例発表に参加者も大変驚いていらっしゃいました。それから「地域と共にある学校づくりと小中一貫教育の推進」というテーマで、国立教育政策研究所の総括研究官志々田まなみさんに講演を頂きました。

重なりますが、妙円寺詣り行事大会が盛大に開催されました。特に民俗芸能の中で、太田の太鼓踊り、徳重の大バラ太鼓踊り、伊作の太鼓踊りは、県の無形民俗文化財です。この3つが奉納され、これらを一堂に見る機会はなかなかありませんので、見応えがありました。

行事大会の相撲競技が今年は復活できて、良かったなと思います。小学校2校、鹿児島市内の高校2校が参加して行われました。

もう1点ですが、昨日委員の皆様には報告いたしましたが、本日教育委員会職員の懲戒処分を行いました。職務怠慢、注意義務違反で、3ヶ月の減給10分の1という処分を行っております。かねてから指導をしている中で、このようなことが起こりまして、市民の皆様、関係機関の皆様にお詫びを申し上げたいと思います。詳しい経緯等につきましては、事務局長から報告をいたしま

す。東局長お願いします。

東局長： それでは今回の懲戒処分について、ご説明いたします。

大まかな内容ですが、所属は教育委員会参事補兼係長の60歳の職員で、令和元年から令和5年度までの修繕料13件104万4,263円の支払いを、職務怠慢により会計処理を行っていなかったということでございます。当該職員が過去にも勧告処分を受けておりましたので、今回、懲戒処分に至りました。

発覚した経緯ですが、今回の12月補正予算で、予算要求書が提出されましたが、その修繕料の予算要求に資料として添付されていた見積書が市外業者のものであったことから、市内の業者を使用して修繕を行うようにと指示を行ったところ、その修繕は前年度に既に終わっていると報告を受けましたので、他にそういった事例がないかと担当職員に確認をして、事業者にも確認をさせたところ金額、件数が判明したということでございます。

発生原因ですが、修繕をする時には、見積書を徴取して、修繕が終わったら完了届や請求書を頂いて、支払うのが通常ですが、見積書の提出がされないままに修繕を行ったり、修繕が終わったにも関わらず事業者からの完了届や請求書の提出がされなかったということがございました。

担当職員も当該の事業者に、会計処理上必要な書類の提出を再三にわたり求めたんですが、その事業者からの提出がされないままに、修繕が積み重なり、結果100万円を超える未払金が発覚したということでございます。

今回の件につきましては、12月の補正予算に全ての修繕料の計上を行うこととしております。市民の信頼を損ねる行為でした。深くお詫び申し上げます。以上で報告を終わります。

奥教育長： はい。ありがとうございました。

私共といたしましても、襟を正して、自覚を持って、職務遂行に当たることで、また、市民の信頼を回復するよう努めていきたいと思っておりますので、ご理解いただきたいと思っております。よろしく願いいたします。

4 議事

【報告第16号 令和6年度日置市一般会計補正予算（第7号）の市長への意

見 具 申 に つ い て】

奥教育長： 報告第16号令和6年度日置市一般会計補正予算（第7号）の市長への意見具申について説明をお願いいたします。東事務局長。

東局長： 資料の1ページをお願いします。

報告第16号について、説明いたします。令和6年度日置市一般会計補正予算（第7号）について意見を求められました。3ページが意見書でございます。これに対し、臨時に代理し、別紙のとおり回答しました。別紙は、2ページの回答書になります。そのため、日置市教育委員会の行政組織等に関する規則第24条第2項の規定により報告するものでございます。

この補正予算につきましては、明後日開会の日置市議会12月定例会に提案をする補正予算書でございます。

次に補正予算書の内容について説明いたします。

6ページをお願いします。補正予算の総額は3億3,275万2,000円を追加するものでございます。補正後の予算総額は一般会計ですが、332億9,202万5,000円とするものでございます。

次に、教育費の補正予算の概要です。8ページをお願いします。1番下の10款教育費でございます。414万1,000円を追加し、補正後の額を23億3,862万8,000円とするものでございます。以上が補正予算の概要でございます。

説明資料の説明を行います。令和6年度12月補正予算（案）説明資料の3ページをお願いします。歳入でございます。上から2番目17款1項1目財産貸付収入、1節土地建物貸付収入、教職員住宅貸付収入でございます。今年の3月31日をもって、用途廃止をした住宅4棟と現在空き家となっている1棟の貸付料を合わせまして166万7,000円の減額でございます。

下から2番目の18款1項2目指定寄附金で、例年寄附を頂いているもので100万円を増額計上したものでございます。この寄附金を活用した事業につきましては、後ほど歳出で出てきます。

5ページをお願いします。中程の22款1項6目教育債、学校教育施設等整備事業債です。起債対象事業が確定したことに伴いまして1,720万円を減額計上いたしました。歳入は以上です。

6ページをお願いします。歳出でございます。中程です。10款1項2目事務局費では、4節共済費の社会保険料は定時改定によ

り6,000円の増額計上、8節普通旅費では、指導主事の赴任旅費が確定したことに伴い71万4,000円の減額計上でございます。24節積立金では、預金利率の変更に伴いまして2,000円の増額計上でございます。

2項1目学校管理費、小学校ですが、3節職員手当等は異動に伴うもので9万4,000円を増額計上しました。

7ページでございます。10節需用費、施設維持修繕料では、小学校の校舎の設備修繕のために3件107万6,000円を増額計上しました。

17節備品購入費では、先程の寄附金を活用し、教育相談室の空調を設置するために19万7,000円を増額計上しております。

2目教育振興費、12節その他委託料です。就学援助システム改修に伴うものでございます。46万2,000円を増額計上しました。これは中学校費でもございます。

17節備品購入費30万円の増額計上です。これも寄附金を活用し、図書を購入するものでございます。

3項1目学校管理費、中学校ですが、吹上中学校における草払い機の燃料費2,000円、コピー使用料2万円が7ページから8ページにかけてございます。予算の組替えを行うために、それに見合う、7ページ1番下ですが、通信運搬費5,000円、8ページ中程の備品購入費1万7,000円を減額計上し、歳入歳出の組替えを行いました。

7ページにお戻りください。下から2番目の10節需用費、修繕料でございます。吹上地域のスクールバスの修繕に伴う37万4,000円を増額計上いたしました。

8ページです。17節備品購入費は、伊集院北中学校の放送設備購入のため、181万5,000円を増額計上しております。

18節補助金及び交付金20万円の増額計上でございます。これも寄附金を活用した日吉学園体育文化後援会への補助金を交付するものでございます。

22節国庫支出金精算返納金9万6,000円の減額計上ですが、旧上市来中学校の財産処分に伴い返納金が確定したことに伴うものでございます。

2目教育振興費でございます。12節その他委託料46万2,000円の

増額計上です。先程の小学校費と同様、就学援助システム改修に伴うものでございます。

8 ページから 9 ページにかけてです。17 節備品購入費 30 万 3,000 円の増額で、これも寄附金を活用して図書を購入するものでございます。教育総務課、学校教育課所管分は以上になります。

奥教育長： 社会教育課長、お願いします。

田代課長： それでは、社会教育課所管の補正予算の説明をいたします。

資料の 4 ページになります。歳入の説明をいたします。21 款 4 項 4 目雑入、雇用保険料は、社会教育指導員の雇用保険料の個人負担費で、雇用保険料額の変更に伴うもので 3,000 円を増額補正するものでございます。

歳出になります。9 ページをお開きください。10 款 5 項 1 目社会教育総務費、4 節共済費、社会保険料（会計年度任用職員に係るもの）は、保険料額変更に伴うもので 19 万 8,000 円を増額補正するものでございます。

2 目公民館費、4 節共済費、社会保険料（会計年度任用職員に係るもの）は、保険料改定に伴い 5,000 円を増額補正するものでございます。

10 節需用費、施設維持修繕料は、中央公民館 3 階渡り廊下の天井張替えに伴うもので 11 万円を増額補正するものでございます。

3 目図書館費、1 節報酬、会計年度任用職員報酬は最低賃金改定に伴うもので 7 万 4,000 円を増額補正するものでございます。

4 節共済費、社会保険料（会計年度任用職員に係るもの）は保険料改定に伴うもので 18 万 5,000 円を増額補正するものでございます。

8 節旅費、費用弁償（会計年度任用職員に係るもの）は、職員の採用に伴うもので 4 万 7,000 円を増額補正するものでございます。

13 節使用料及び賃借料は、機器の更新に伴うもので 13 万 5,000 円を増額補正するものでございます。

10 ページになります。5 目文化財費、4 節共済費、一般職共済組合負担金は、定時決定に伴うもので 10 万円を増額補正するものでございます。

10 款 6 項 1 目保健体育総務費、4 節共済費、一般職共済組合負

担金は、定時決定に伴うもので5万6,000円を増額補正するものでございます。

2目体育施設費、11節役務費、手数料は、コトブキサッカーフィールド吹上のトイレ給水工事による設計審査料及び工事検査手数料に伴うもので1万円を増額補正するものでございます。

12節委託料、投資的委託料は、執行見込に伴うもので、270万8,000円を減額補正するものでございます。

18節負担金、補助及び交付金、投資的経費のものは、トイレ給水工事による給水負担金に伴うもので59万4,000円を増額補正するものでございます。以上でございます。

奥教育長： 東事務局長、お願いします。

東局長： 10ページ下です。3目給食センター費です。10節需用費、光熱水費は、執行見込によるもので57万1,000円を減額計上しました。

修繕料及び施設維持修繕料は、先程の懲戒処分の公表の資料の裏に明細がございます。この表の1番下に82万4,483円修繕料、21万9,780円施設維持修繕料とございまして、この分を含んだ計上となります。

修繕料は、その82万4,483円に、今見込まれております修繕29万7,000円、それから今後急に発生する修繕に備えるものとして13万7,000円を計上し、合わせて125万9,000円の増額補正となっております。

施設維持修繕料は、明細の下に21万9,780円が過年度分の修繕料です。今後の修繕は7万1,000円程を見込んでおります。また、今の予算残額が12万5,000円程でございますので、差し引いた16万6,000円を増額計上しております。

繰り返しになりますが、過年度分の総額は104万4,263円となります。以上で説明を終わります。ご審議よろしく願いいたします。

奥教育長： ただ今説明がありました令和6年度日置市一般会計補正予算(第7号)につきまして、ご質問はございませんでしょうか。

(特になし)

よろしいでしょうか。

(異議なし)

それでは報告第16号は、原案のとおり承認することとしてよろ

しいでしょうか。

(異議なし)

それでは報告第16号は、原案のとおり承認されました。

【報告 第16号 承認】

【報告第17号 日置市適応指導教室条例の一部改正の市長への意見具申について】

奥教育長： 報告第17号日置市適応指導教室条例の一部改正の市長への意見具申について説明をお願いいたします。東事務局長。

東局長： 元の資料に戻っていただきまして、22ページになります。

報告第17号について説明いたします。日置市適応指導教室条例の一部改正につきまして、24ページのとおり意見を求められ、臨時に代理し、23ページの別紙のとおり回答したので、日置市教育委員会の行政組織等に関する規則第24条第2項の規定により報告するものでございます。

今回の条例改正につきまして、26ページからが新旧対照表になります。施設の名称を「適応指導教室」から「教育支援センター」に改めるものでございます。これに伴いまして、条例の名称など所要の改正を行うとともに、条文の整理を図るものでございます。

施設の名称変更の趣旨・経緯ですが、適応指導教室の当初の設置趣旨は「学校生活への復帰や適応に向けた取組を行う施設」という位置付けでしたが、近年ではこれに加えて「社会的自立を促す取組を行うこと」も求められております。

本市のふれあい教室においても、求められている取組に現に取り組んでいることから、名称を教育支援センターに改めるものでございます。

国の有識者会議におきまして、適応指導という文言がマイナスのイメージを与えるという意見がありました。これを境に国におきましても、適応指導教室と表記する場面はほとんど無くなり、更には県内の他の市町村でも教育支援センターへの名称変更が進んでいることから、今回、条例を改正するものでございます。

条例の改正文は25ページになりますが、新旧対照表の方が分かりやすいので、こちらで説明をさせていただきます。題名、第1条は名称変更に伴う改正でございます。第2条、第3条は、今の

施設は設置以来、「ふれあい教室」という呼称が浸透しています。そのことから、条例中の略称規定で「教室」という言葉を「ふれあい教室」、「適応指導」という言葉を「指導及び支援」という名称に改めるとともに、条文の整理を図ったものでございます。

27ページにかけましては、条文を削除してございますが、これは条文の整理という位置付けで、これらの中身は別途、事業の実施要項を定めることとしております。

25ページにお戻りください。1番下に附則としまして、この条例は令和7年4月1日から施行するものでございます。以上、ご審議よろしくお願いいたします。

奥教育長： ただ今説明がありました日置市適応指導教室条例の一部改正につきまして、ご質問はございませんでしょうか。

（特になし）

よろしいでしょうか。

（異議なし）

それでは報告第17号は、原案のとおり承認することとしてよろしいでしょうか。

（異議なし）

それでは報告第17号は、原案のとおり承認されました。

【報告 第17号 承認】

5 その他

（1）事務局長

（2）学校教育課長

（3）社会教育課長

（4）各支所教育振興課長

ア 東市来支所教育振興課長

イ 日吉支所教育振興課長

ウ 吹上支所教育振興課長

（5）その他

6 閉会

奥教育長： それでは日置市教育委員会11月の定例会を終了いたします。

終了

署名委員 _____ 印

署名委員 _____ 印